

contents

〈展覧会紹介〉Reborn III「未来を掘る 吉田ヨーゾー／小野忠弘」	[2～3]
〈イベント報告〉幕末明治のアートシーン	[4]
〈イベント報告〉Reborn I「未来の秘密」	[5]
〈イベント報告〉Reborn II「未来を発明」	[6]
美術館イベント報告	[6]
シリーズ ふく美の記憶③ 増築～現在(1986年～2019年)	[7]
コラム「浮世絵に描かれた福井」	[7]
福井県立美術館友の会「平成30年度 秋の見学会」	[8]
平成31年度 実技講座受講生・友の会会員募集 お知らせ	[8]

表紙：吉田ヨーゾー「幕あいのピエロたち」(2016年)部分 個人蔵







# 吉田ヨーゾー

「幕あいのピエロたち」  
(2016年)部分

Re  
born  
未来へのアップデート

2/15 fri - 3/17 sun ※会期中無休

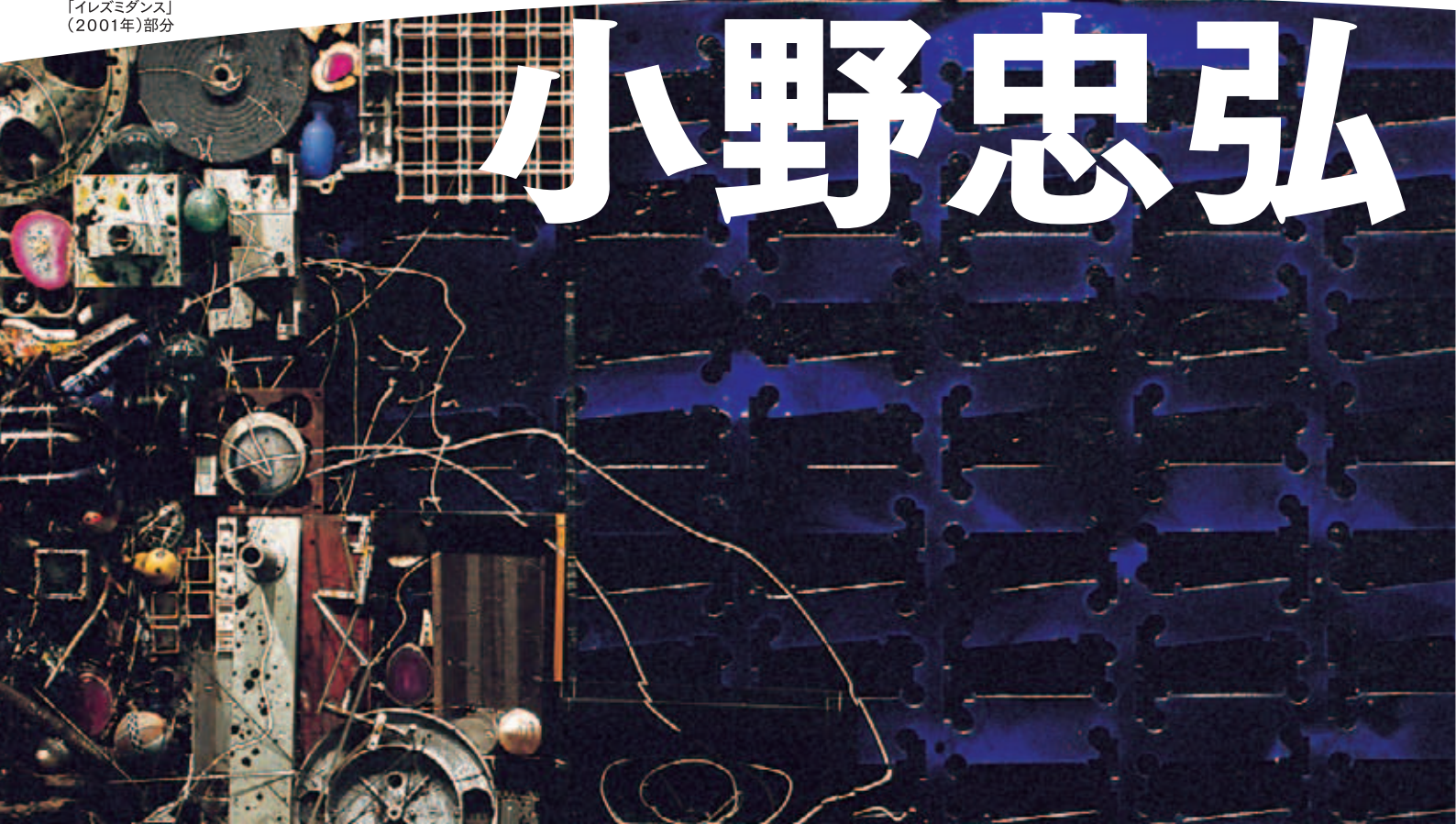
【開館時間】  
9:00~17:00(入館は16:30まで)

【料金】  
一般・大学生 100円  
(20名以上の団体は2割引き)  
高校生以下、70歳以上、障害者手帳等  
をお持ちの方とその介助者1名は無料。

# 未来を掘る

「イレズミダンス」  
(2001年)部分

# 小野忠弘



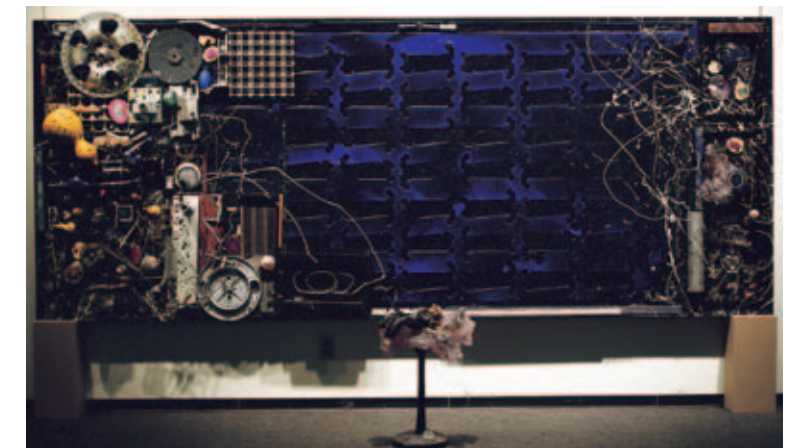
吉田ヨーゾー「センスのある犬」(1990年) 148×90×80cm 個人蔵



小野忠弘「ポストエスニック」(1992年) 122.4×242cm アートハウスギャラリー蔵



吉田ヨーゾー「幕あいのピエロたち」(2016年) 54×73.5cm 個人蔵



小野忠弘「イレズミダンス」(2001年) 140×346cm 福井県立美術館蔵

## ◆座談会「吉田ヨーゾーを語る」

2月24日(日) 午後2時~

[場 所] 福井県立美術館講堂

[登壇者] 和順光氏(画家)、よしだかずみ氏(吉田ヨーゾー夫人)、  
西村直樹(福井県立美術館主任学芸員)、他

※天候の状況等によって開催日時が変更となる場合があります。

開催  
イベント

## ◆トークショー「小野忠弘とは何か」

3月10日(日) 午後2時~

[場 所] 福井県立美術館講堂

[登壇者] 西村直樹(福井県立美術館主任学芸員)、他  
※天候の状況等によって開催日時が変更となる場合があります。



吉田ヨーゾー「猫の口の中を覗くオノ」(制作年不詳) 個人蔵



《イベント報告》

# 幕末明治の アートシーン

～福井ゆかりの作家と同時代の巨匠の作品から～

2018年 9/22 土 ～ 11/1 木

幕末明治  
福井150年博  
ニッポンの美術はここから  
明治

2018年は明治維新から150年という節目の年でした。これに合わせ、福井県立美術館では昨年9月22日～11日に「幕末明治のアートシーン～福井ゆかりの作家と同時代の巨匠の作品から～」を開催いたしました。250年に及ぶ江戸時代の終焉によって鎖国制度が崩壊、近代化を図る明治日本は政治や社会を一変させましたが、この転換期は、美術界にも大きな変動をもたらしたのです。本展では、幕末から近代の美術界に焦点を当て、島田墨仙や岡倉天心、岡島辰五郎、そして日本美術院と京都画壇の竹内栖鳳や山元春挙といった同時代の巨匠や福井にゆかりのある人物の美術作品75点をご紹介します。会期中には担当学芸員によるトークサロンを実施、美術館の舞台裏や展覧会の見どころについてお話ししました。

また10月15日には、第18回全国障害者スポーツ大会の開会式臨席のためご来県になった高円宮妃久子殿下が本展をご視察されました。

芸術の秋、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の期間中は開館時間延長しプロジェクションマッピングで館内を彩ったり、ハロウィンパーティーを開催したりと、新たな取り組みで多くの皆さまにご来館いただきました。

## 《関連イベント》

### ●トークサロン「展覧会ができるまで」

【日 時】平成30年10月7日(日) 17:00～18:00

【場 所】美術館喫茶店 ニホ

【講 師】戸田浩之(当館学芸員)



《イベント報告》

# I 未来の秘密 2018年 12/7(金)～12/24(月・振替)

コレクションにみるアートの過去、現在、そして未来。

Reborn  
未来へのアップデート

近代に活躍した福井ゆかりの美術指導者・岡倉天心の著書『東洋の理想』(1903年刊)に、次のような一文があります。「歴史の中に未来の秘密がある」。

人は有史以来、絶えず進化を遂げながら発展してきました。それは過去と対峙し、それを教訓としてきたからこそできたことだといえます。過去があるからこそ現在の私たちが存在し、現在があるからこそ新たな未来

が生まれるのです。美術もまた過去を学び、それを乗り越えようと各時代の作家たちが努力を重ねたことで、優れた表現や作品を創りあげてきました。



三上誠「F市曼荼羅」  
1950年(昭和25) 当館蔵

福井県立美術館は、開館40周年アニバーサリーイヤーを昨年10月で終了しました。そして次なる50周年へ向けた一歩として、当館のコレクションを中心に、美術館とアートの未来について考えるシリーズ企画「Reborn～未来へのアップデート～」を、3部構成で開催しています。

その第1部である本展では「未来の秘密」をメインテーマに、「聖なる形」「風景」「花鳥画」など5つの画題ごとに新旧29点の絵画作品を展示、時代における表現の特色や相違など、過去から現在にいたる美の変遷をご紹介します。

## 【主な作品】

- ・作者不詳 「二十五菩薩来迎図」 13世紀(鎌倉時代) 当館蔵
- ・三上 誠 「F市曼荼羅」 1950年(昭和25) 当館蔵
- ・横山華山 「山水図屏風」 18世紀(江戸時代) 個人蔵
- ・古沢岩美 「東尋坊」 1951年(昭和26) 当館蔵
- ・狩野常信 「花鳥図屏風」 17世紀(江戸時代) 当館蔵
- ・牧 進 「花の頃」 2002年(平成14) 当館蔵

《イベント報告》

# II 未来を発明 2019年 1/3(木)～2/6(水)

県とゆかりのある若手作家による、県立美術館コレクションとのコラボレーション。

Reborn  
未来へのアップデート



第II部のテーマは「未来を発明」。美術館が開館した1977年以降に生まれ、福井にゆかりを持つ9名の作家とのコラボレーションによって福井県立美術館コレクションについて新たに考えようという企画です。作家たちはそれぞれ当館コレクションの中から作品を選び、再解釈して、作品を制作しました。

参加作家は今井俊介氏、角文平氏、西井武徳氏、戸泉恵徳氏、久保尚子氏、長坂真護氏、前野みさと氏、萬未来子氏、寺根千尋氏。

会期中は担当学芸員による解説や、出品作家を迎えたトークサロンを開催しました。

## 《関連イベント》

### ●スペシャルトーク「マッキー先生と椎野学芸員のギャラリートーク」

【日 時】平成31年1月3日(休)

1 回目 / 10:30～11:30

2 回目 / 15:00～16:00

【場 所】第4展示室

【講 師】牧井正人(文化振興課) & 椎野晃史(当館学芸員)



トークサロン「展覧会ができるまで」

### ●トークサロン「展覧会ができるまで」

【日 時】平成31年1月13日(日) 17:00～18:00

【場 所】美術館喫茶店 ニホ

【講 師】西井武徳氏、前野みさと氏、萬未来子氏、寺根千尋氏  
(以上、Reborn展出品作家)、椎野晃史(当館学芸員)



トークサロン「或る学芸員の放浪記」

### ●トークサロン「或る学芸員の放浪記」

【日 時】平成31年1月19日(土) 17:00～18:00

【場 所】美術館喫茶店 ニホ

【講 師】前田詩織(当館学芸員)



ギャラリートーク「Reborn～未来へのアップデート～ 第2部 未来を発明」

### ●ギャラリートーク

「Reborn～未来へのアップデート～ 第2部 未来を発明」  
「新春展 吉祥尽くし」

【日 時】1 回目 / 平成31年1月19日(土) 14:00～15:00

2 回目 / 平成31年1月20日(日) 14:00～15:00

【場 所】第3・4展示室

【講 師】椎野晃史(当館学芸員) / 前田詩織(当館学芸員)

## 同時開催

# 「新春展 吉祥尽くし」 2019年 1/3(木)～1/20(日) 第3展示室

新しい年の訪れ、館蔵品から春の寿ぎにふさわしい作品をご紹介します。今年の干支である猪をはじめ鶴や亀などの縁起の良い動物や、七福神、吉祥的な草花を表した絵画や工芸が並びました。岩佐又兵衛「和漢故事説話図」、作品の時代やジャンルは様々でしたが、展示室を吉祥をテーマとする一幅の絵に見立て、華やかな「吉祥尽くし」の空間をお楽しみいただきました。

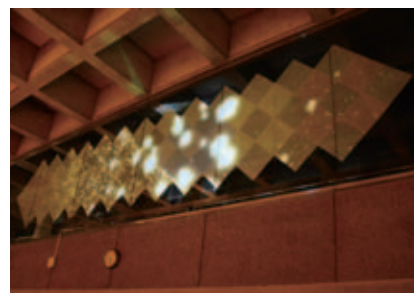


《美術館イベント報告》

【第2回大人のためのアートな秋の瞬間 ～月下の美術館～】

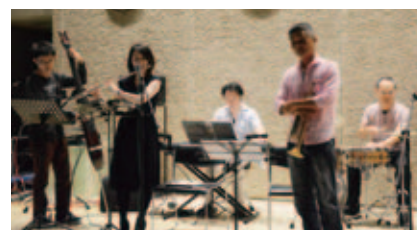
●プロジェクトマッピングによるアートな秋の夜の彩り空間

日	時	会場
平成30年9月28日(金)	17:30～19:00	初点灯
平成30年9月29日(土)～10月28日(日)	17:30～20:30	屋外展示室、 エントランスロビー



●秋の夜長のハーモニー ちょっと気取った大人たちの音楽会

日	時	出演者	会場
平成30年9月29日(土)		戯歌衆〜ぎかしゅう〜/チエミ・佐澤尚友	エントランスロビー ・屋外展示室
平成30年10月6日(土)		Five Spot / K2	
平成30年10月7日(日)		岩田雅弘	
平成30年10月8日(月・祝)		naonao/竹内くと坂くん	
平成30年10月13日(土)		Cocon/チエミ・佐澤尚友/よしけい	
平成30年10月14日(日)		戯歌衆〜ぎかしゅう〜/Half:D/ドラプラタ	
平成30年10月20日(土)		MK/bonito/永田郁代+石森久雄	
平成30年10月21日(日)		加藤美香/竹内くと坂くん	



●～ハロウィンnight 音楽会 in museum～

日	時	出演者	会場
平成30年10月27日(土)		Five Spot / Blue Moon Blue	エントランスロビー
平成30年10月28日(日)		Cocon	



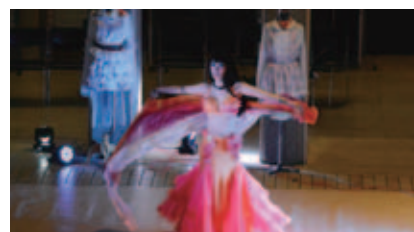
●ハロウィンnight ダンス in museum

【日 時】平成30年10月28日(日) 13:00～20:30  
 【出演者】ハロウィン・フェイスペインティング(メイク:Mariko Shimizu)  
 啓新高校(「ハロウィン・ファッションの杜」協力) ハロウィン衣装で来館  
 エンジョイダンス(Miki Miyu) /サルサ(Ai Miki ほか) /ベリーダンス(Emma)  
 【場 所】エントランスロビー



●月下の秋の調べ 月下ヨーガ(マインドフルネス・ヨーガ)

【日 時】平成30年10月14日(日) 17:30～18:10  
 【講 師】山川美保氏  
 【場 所】屋外展示室



【平成Last Christmas音楽会】

日	時	出演者	会場
平成30年12月22日(土)		Lulu / マンドリンアンサンブルかのん	エントランスロビー
平成30年12月23日(日)		バーナ・ファールチェ / HIROKO / Kazumi&Karin	
平成30年12月24日(月・祝)		Kazumi&Karin	



【教育イベント】

●ふれあい文化子どもスクール(美術館鑑賞)

【日 時】平成30年11月27日(水)～11月30日(金)  
 【場 所】第4展示室



シリーズ ぶく美の記憶③ 増築～現在 (1986年～2019年)

開館して10年弱で館の増改築をすることになった。それは展示面積の拡充を図り、県民により多くの作品を鑑賞する機会を提供するためだ。1985(昭和60)年に増改築工事を開始し、翌年竣工。さらに5年後の1991(平成3)年には収蔵庫の増築を行い、展示面積、収蔵スペース共に開館当初の2倍に増えて、ようやく現在の姿になった。

それから30年近くの時が経った。2017年11月1日に開館40周年を迎えたぶく美は、特別展や常設展など合わせて500以上の展覧会を開催し、県内外から多くの方が訪れた。その間、ゼロからスタートしたコレクションも増え続け、今では3,300点を超える収蔵品を擁するようになった。

展覧会の実績やコレクションの厚みは美術館の歴史そのものであり、地層のように堆積されていく。そして次なる50周年へ向けて、ぶく美は今日も地層を重ねていく。(了)



美術館外観

当館では現在、所蔵作品に新たな文脈を与え再解釈を導くコレクション展「Reborn—未来へのアップデート—」を昨年12月から開催している。これにちなみ、今回は浮世絵についても少々ご紹介したい。

画面に収まり良く、坂下のくぼみと遠景の山が対称を成すように描かれ、安定感がある。

意外に思われるかもしれないが、江戸に住む絵師たちが遠地の景色を描く際、必ずしも実地を訪れ写生をするとは限らなかった。当時は各地の名所や山水の真景をとらえ由緒や歌などを添えた地誌類、いわゆる名所図会が多数出版された。町人に向けた名所図会の内容は通俗的なものではあったが挿図は記録性の高いものとして、絵師たちに参照されたのである。

コラム 浮世絵に描かれた福井

学芸員 前田詩織

錦絵揃物「東海道五十三次之内」といえば、江戸後期の浮世絵師歌川広重(1797-1858)が描いた隠れなき逸品である。しかしこの他に数多く遺された広重の浮世絵は、代表作である前述の東海道シリーズに劣らぬ魅力を持ちながら、今日広く知られているとは言い難い。江戸で隆盛した旅行ブームを背景に、風景画の名手であった広重は、全国の名所や街道宿場を取り上げて絵に表した。「六十州名所図会」「国尽張交図会」といった揃物には越前国や若狭国の景をとらえた図もあり、それらは当館の所蔵ともなっている。

「山海見立相撲」という作品は最晩年の広重が手掛けた作で、安政5年(1858)の夏、山田屋から刊行された。相撲に見立てて各国の山と海の名勝を競わせるという趣向だ。全20図から成る揃物だが、そのうち「越前湯之尾峠」で、広重は現・南越前町今庄にある湯尾峠を描いた。今庄・湯尾の両集落を隔てる湯尾峠は北陸道における要衝で、武将たちの征野ともされてきた。人口に膾炙したこの旧跡は、近世には井原西鶴、近松門左衛門、松尾芭蕉らの文芸にも取り上げられている。

広重の作品には西洋画式の線遠近法を取り入れて効果的に用いた大胆な構図のものも多いが、「山海見立相撲 越前湯之尾峠」は広角的な画面の中にモチーフがゆったりと配されており、やや様式化され意匠的な美しさを持つ。遠近感を強調するよりも、本図はむしろ色面構成的な平面性を重視しているようだ。墨の繊細な描線と、版画ならではの伸びやかな色彩が特徴であろう。濃厚な画面は静かでありながら華やかでもある。峠の形や傾斜は実景と一致しないようであるが、リズムカルに蛇行する坂道は

現代に置き換えれば、画像検索によって遠く離れた土地の景観をつぶさに得ることのできる、インターネットのような身近さだったのだろう。そんな当時としては広重はよく旅をした絵師であったが、やはり実景を見るのが叶わない土地を描くためには『東海道名所図会』『日本名山図会』あるいは『山水奇観』といった版本の挿絵を利用していた。「山海見立相撲 越前湯之尾峠」では『二十四輩順拝図会』にも着想を得ているようだ。もちろんこれらの挿絵をそのまま敷き移すわけではない。リアリティのある空間を作り出すため、そして絵として美しく見せるため、時には景物の配置を組み替えることもあった。できあがった風景が現実の景観と異なることもしばしばであったが、絵師の手によって新たに作り出された風景はいきいきとした魅力を備え、見る者の旅情を誘うのであった。



歌川広重「山海見立相撲 越前湯之尾峠」大判錦絵 安政5年(1858) 当館蔵



## 〈平成30年度 秋の見学会〉

日 時◎平成30年12月6日(木)～7日(金) 参加人数◎28名

行き先◎九州国立博物館「オークラ・コレクション展」、出光美術館(門司)「白磁と青磁」展、福岡県立美術館「バレル・コレクション展」

福井県立美術館友の会では、平成30年12月6日～7日(1泊2日)、秋の見学会に行ってきました。今回の訪問先は九州。早朝に小松空港を出発、博多空港に到着した頃はいにくの空模様でした。1日目、ホテルで美味しいランチを楽しんで九州国立博物館「オークラ・コレクション展」と太宰府天満宮を見学しました。同展には近代日本の実業家、大倉喜八郎・喜七郎父子が収集した名品揃いのコレクションから、国宝や重要美術品を含む110件もの作品が出品されており、見ごたえ十分の内容でした。夜は博多華味鳥で名物の水炊きを堪能して、ホテルへの途上バスの車窓越しではありましたが、クリスマスイルミネーションで美しく彩られた宵町の景色を楽しみました。

2日目はまず、北九州に足を延ばして出光美術館(門司)へ。こちらで開催されていたのは「白磁と青磁」展です。中国陶磁を中心に、美しい磁器の名品をじっくり味わい、関門海峡を後にして、ランチバイキングでお腹を満たしました。続いて向かったのは福岡県立美術館。こちらでは「バレル・コレクション展」を見学しました。産業革命時代の英国グラスゴーの海運王ウィリアム・バレルによる一大コレクションです。門外不出とされてきたコレクションの中から選ばれたのは、日本初公開作品を含む印象派の名画80点。所狭しと作品が並ぶ会場は見ごたえたっぷりでした。余韻に浸りつつ、福岡空港でお土産を買い、家路につきました。



福岡県立美術館前での記念撮影

### お知らせ

#### 2019年度 福井県立美術館 友の会 会員募集

詳しくは、事務局(TEL.0776-25-0452)までお気軽にお問い合わせください。

年会費	一般会員 2,000円 / 家族会員 4,000円 / 特別会員 10,000円
特典	(1)展覧会 ★企画展観覧無料(一般会員1枚、家族会員3枚、特別会員8枚の入場券を進呈) ★美術館主催・共催展観覧2割引 ★テーマ展観覧無料 ★企画展鑑賞会(定員20名) (2)友の会ニュース(随時)、美術館だより(年3回)を送付 (3)ミュージアムグッズ購入2割引(常設展のみ) (4)実技講座、美術館見学会(年2回) ※実費負担
申し込み	3月1日受付開始

#### 2019年度 実技講座受講生の募集

福井県立美術館では「日本画」「洋画」「素描(デッサン)・水彩画」の基礎講座(4～6月・10回)と、同内容の専門講座(9～11月・25回)の受講生を募集します。

※詳しくは美術館ホームページ、または館内設置の募集要項をご覧ください。

##### ◎定員

- 日本画(基礎講座・専門講座) / 定員15名
- 洋画(基礎講座・専門講座) / 定員15名
- 素描(デッサン)・水彩画(基礎講座・専門講座) / 30名

##### ◎募集期間

- 基礎講座 3月1日(金)～3月20日(水)まで
- 専門講座 6月10日(月)～7月31日(水)まで

#### ◎2月～3月の 休館日について

館内メンテナンス、展示替え等のため、下記の日程は休館とさせていただきますのでご了承ください。  
**3月25日(月)、26日(火)**

#### 貸館情報 [2/7～3/31]

2/7～3/4 ● 福井大学・教育地域科学部美術教育	3/20～3/24 ● 第25回記念玲風会日本画展
2/27～3/3 ● 第18回フォト瞬写真展	3/20～3/24 ● 福井県退職者連盟会員 第9回作品展
3/2～3/7 ● 素材と表現展	3/21～3/24 ● 第4回絵画グループA
3/5～3/10 ● 京谷豊子 水墨画個展	3/22～3/24 ● 第15回藤島高校書道部展
3/8～3/10 ● 第39回書友会展	3/28～3/31 ● いのちの創造・第3回佐々木孝生洋画展
3/10～3/17 ● 福井県立美術館 実技講座受講生作品展	3/28～3/31 ● 第18回水彩画を楽しむ会作品展
3/13～3/17 ● 福井県立美術館 友の会受講生作品展	3/29～3/31 ● 第45回一書会展
3/14～3/17 ● 絵画グループ「樹」創立20年記念展	3/29～3/31 ● 第38回鳳友会展